

じっくり読書は紙の本

酒井 邦嘉 東大教授(言語脳科学)



現代は、動画の再生速度を速めるなど、あらずじや結果、結論を得る時間を節約する風潮が広がっている。今こそ、想像力を働かせ、じっくりと時間をかける読書の重要性を再認識するべきだ。

スマホやデジタル端末に比べ紙の本は、考えるため

のきっかけがページごとにあり、想像力を喚起してくれる。

全国学校図書館協議会の調査では、スマホや電子端末を使った読書よりも、「紙の本が読みやすい」という回答が女子で高かった。女子は男子に比べ、読書量が多い傾向にある。作品を味わい、深く理解するには、既に読んだ箇所を読み返す必要がある、経験上、紙の本での読み返しが容易なこ

とを知っているからだろう。

紙の本は一度読めば、ページごとの特徴から記憶がよみがえり、必要な箇所がすぐに見つかる。それに比べてスクロールで戻るスマホやデジタル端末上の文章では探しにくい。

電子書籍で「物語・おはなし・小説」を読んだ児童生徒でも「紙の本の方が読みやすい」との回答割合が高かった。これは、しっかりと内容を追う読書には、紙の本が適していることを示す結果だろう。